

## 大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
  - ・ 平熱を超える発熱
  - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
  - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
  - ・ 嗅覚や味覚の異常
  - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
  - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
  - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方いる場合
  - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるように準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (5) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (6) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (7) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (8) レース終了後、マスクを着用し、室内履きを履いてから移動すること。
- (9) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (10) 食事は、選手控え場所・観覧席のみで、人との距離（2m以上）を保ち単独で取ること。
- (11) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (12) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
  - ・ マッサージベッド、アイシングバス、トレーニングバイク等
  - ・ チーム共有のドリンクサーバー
  - ・ メガホン、横断幕、のぼり
  - ・ 共有で使用するストレッチマット（個人専用は持ち込み可）
  - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具（個人専用は持ち込み可）

## 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会 二次要項

公益財団法人 日本水泳連盟  
実行委員長 鈴木 浩二

### 1 公式練習日について

#### (1) 日程

10月15日(金) 11:00~18:00

#### (2) 「健康チェック表」の提出について

- ① 日水連ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。
- ② 「健康チェック表」の体温・体調については、入場2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。
- ③ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保管すること。
- ④ 公式練習日、大会期間中とも、外出の際は「外出証」を受け取ること。外出後に再入場する際は、入場口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。

#### (3) 選手受付・ADカード(選手・付き添い)について

10月15日(金) 11時から選手受付を開始し、ADカードの配布、監督者会議資料等を配布する。付き添者へのADカードの発行は、大会ホームページを確認すること。ADカードは、選手受付時に配布するので、事前に申請を完了すること。有償ADカードの払い戻しは、インフォメーションデスクで行う。

#### (4) 監督者会議

10月15日(金) 15:00~ (東京辰巳国際水泳場:観覧席)

#### (5) 公式スタート練習

公式練習日・大会当日とも行わない。

#### (6) 食事について

感染予防のため、観覧席・選手控え場所で人との距離を保ち、会話を控えて単独で取ること。

#### (7) 駐車場について

大会日を含め、駐車場は、東京辰巳国際水泳場の隣接駐車場(有料100台)のみとなります。会場に隣接する全ての道路は駐車禁止のため、公共交通機関の利用について周知徹底を願います。

### 2 館の使用について(10月15日~17日)

- (1) 選手席・選手控え場所は、公式練習日から使用できる。選手席のテーピングをした座席は使用できない。
- (2) ダイビングプール周辺、サブプールのスロープ、サブプールのプールサイド等は場所取り禁止とする。
- (3) 会場内におけるチームや個人選手付トレーナーの活動に関して、用手接触を伴うマッサージやパートナーストレッチなどは禁止とする。運動指導や救急対応(トレーナーの行うテーピング等)は、3密を回避した状態で、感染対策を十分に行ったうえで対応可能とする。
- (4) 荷物は、入館日から10月17日まで、チーム席に近い観覧席の車いすスペースに置くことができる。
- (5) サブプールのプールサイドは、練習時の荷物置き場とする。マッサージ行為は禁止する。
- (6) 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室を控え場所としたり、食事をすることはできない。

### 3 入場時間・練習について

メインプールでの昼休みの練習については、下記のとおりとする。

1日目……予選終了~13:15は使用制限なし。13:15~14:45は決勝出場者のみ。

2日目……予選終了~14:45は決勝出場者のみ。

### 4 申し込み状況(9月26日現在)

参加団体190 参加選手370名(男子194名・女子176名) 種目数681種目(男子329種目・女子352種目)

## 5 日程

期 日	事 項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
10月15日(金)	公式練習日	11:00	練習時間 11:00 ~ 18:00				18:15
10月16日(土)	1日目	7:15	10:00	12:00	15:00	17:50	18:30
10月17日(日)	2日目	7:15	10:00	11:30	15:00	17:00	17:40

## 6 プログラム・スタートリスト

プログラム(2日間の予選スタートリスト掲載)は1部2,000円、決勝スタートリストは1チーム1部を無償で配布する。

## 7 棄権の届け出

届け出用紙に記入し、予選は当該競技当日の予選競技開始20分前(9:40)までにリゾリユーションデスクに届け出ること。決勝を棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に、棄権料3,000円を添えてリゾリユーションデスクに届け出ること。(無断で棄権した場合は、罰金3,000円を徴収する)

## 8 フラッシュインタビュー

決勝競技の優勝者は、各競技終了後に、テレビ朝日によるフラッシュインタビューを行う。

## 9 取材について

### (1) 予選競技

予選競技でのインタビューは行わない。

### (2) 決勝競技

決勝競技後、インタビューエリアでインタビューを行う。

## 10 表彰式・写真撮影

- (1) 表彰式は行わない。ただし、上位3名については、フラッシュインタビュー後に、インタビューボードの前で写真撮影を行う。
- (2) 選手は、着衣後に手指消毒を行い、自分でメダルを首にかける。撮影時は、会話・握手は控えること。
- (3) 賞状の贈呈、IDカードによる記録証の発行は、インフォメーションデスクで行う。

## 11 ドーピングコントロール同意書

大会当日18歳未満の参加者は、18歳未満競技者親権者同意書(JADA)を必要とする。

## 12 テレビ放映およびインターネット配信

### (1) テレビ放送予定

11月20日(土)21:00~ CSテレ朝チャンネル2(放送予定)

### (2) YouTubeにて、2日間の全競技をLIVE配信する。

## 13 競技結果

競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。

- (1) SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
- (2) 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)

### 連絡事項

その他資料は、整い次第、公開いたしますので、引き続きホームページを確認してください。